

だれでも遊べるおもちゃの兵隊

代表者 西 裕美子（工 4年）

構成員 森宗 健（工 M2） 廣島 淳子（工 4年） 田中 文（工 4年）
大田 慎一郎（工 D3）

(1) プロジェクトの目的

肢体不自由児のリハビリテーション効果があるスイッチの開発。
視覚・触覚で簡単に楽しめる、手作りおもちゃの作製。

(2) プロジェクトの内容

宇部市内にある療育園「うべつくし園」に通う肢体不自由な園児さんを対象に、「運動機能・能力の獲得」を支援する「スイッチ」および「おもちゃ」の開発を行う。今年度は、園児さんが視覚・触覚を使って楽しめるおもちゃを作り、自らそのおもちゃを使い園児さんと触れ合う機会を増やし、園児さんの色々な反応を見ながら障害に対する知識を深める。

(3) 現在までの活動状況

①おもちゃ作製

歌紙芝居・フェルト生地の人形の作製と、昨年までに提供したおもちゃやスイッチの故障確認。

歌紙芝居では、園児さんが口に入れてもいいように表面をラミネートし、角を丸くした。また、色彩豊かにし、視覚をフル活用し楽しめるものにした。

園児さんは、さわり心地にも敏感だと耳にしたので、市販のぬいぐるみではあまりないフェルト生地の人形を作製し、園児さんの反応を見た。

②福祉施設見学

国立身体障害者リハビリテーションセンター、国立職業リハビリテーションセンターを見学した。

センターでは、障害のある方々に医療・福祉の面から総合的なリハビリテーションサービスを行い、それに伴った研究を行いその成果を全国に発信、普及することにより、障害者の自立生活、社会参加の推進を行っている。

国立職業リハビリテーションセンターでは、障害者及び企業のニーズにあった訓練、障害者の職業指導・就職支援が実施されていた。

これらの施設訪問を通し、障害を持った方々が個人の持つ能力を更に訓練で鍛え、社会で活躍するために努力する志の強さを目の当たりにした。

プロジェクト進捗状況 70%

・実施済み事項

- (1) おもちゃ、スイッチの状態確認
- (2) 歌紙芝居作製
- (3) フェルト生地の人形作製
- (4) 福祉施設訪問

・これからの予定

- (1) おもちゃ、スイッチの状態確認
- (2) 季節の歌紙芝居作製
- (3) めずらしい触覚の人形作製
- (4) 宇部つくし園で開かれる運動会のユニフォーム作製（現在進行中）

予算使用状況 401,934円

(予算額 500,000円)